

NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2009年11月10日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2009000019"/>	整理番号 <input type="text" value="11399"/>	担当者 <input type="text" value="渡辺 麻裕"/>
表 題	<input type="text" value="幹細胞の未分化状態を維持する新規方法"/>		
技術分野	<input type="text" value="食品・バイオ"/>	<input type="text" value="化学・薬品"/>	<input type="text"/>
適用製品	<input type="text" value="間葉系幹細胞未分化維持培地, 脂肪細胞への分化抑制剤"/>		
目 的	<input type="text" value="CD271(神経成長因子受容体)が間葉系幹細胞に発現していることで未分化性を維持しながら培養・増殖させることができるシステムの開発。"/> <input type="text" value="CD271を用いた間葉系幹細胞から脂肪細胞への分化を抑制するシステムの提供。"/>		
技術概要	<input type="text" value="間葉系幹細胞の未分化性を維持させる因子についての報告は少ない。"/> <input type="text" value="本発明は神経成長因子受容体(NGFR, CD271)が間葉系幹細胞の未分化性を維持する機能を持っていることから着想した方法である。一例として、マウスの細胞株であるC3H10T1/2細胞にCD271を強制発現する細胞を作製したところ骨芽細胞, 脂肪細胞, 軟骨細胞および筋芽細胞への分化を抑制した。これは, CD271を用いた新しい間葉系幹細胞の培養方法を可能とするシステムを提供するものであり, CD271を含む細胞培養液への開発への応用も考えられる。"/> <input type="text" value="一方で, CD271が脂肪細胞への分化も抑制することから, 脂肪細胞への分化抑制剤としての応用も考えられる。"/>		

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp